



塾通信 ひまわり 20号 2024 4月



いつも塾通信をお読みいただきありがとうございます。

日本では、4月から新年度がスタートします。中学校や高校への進学や進級にあたり「勉強についていけるかな？友達はあるかな？」など、不安を感じたり心配したりする人が多いでしょう。でも、「困ったことは、起こりません」大丈夫です。

この4月は学校に行くだけでたいへん疲れると思います。疲れた時は、無理をせずゲームをしないで、早く寝ましょう。寝る子は、育つ！！



1) 4月の活動報告

(1) 4月5日(金)ドイツ人クリストフがホームステイを終了しました。

クリストフはこれから1か月ほど日本語学校に通います。その後四国・九州を旅して7月にドイツに帰国するそうです。まだ20歳のクリストフには、日本でいろいろな経験をしてドイツに帰ってもらいたいと思います。



彼が日本に来たときは、昨年7月で19歳でした。ドイツと日本を比べると、言葉と文化・習慣がぜんぜん違います。まず言葉（ドイツ語）は名詞に男性名詞・女性名詞があり区別します。

日本語には、そんな区別はありません。ドイツ語の不思議さに少し興味を覚えました。

また、食べ物もドイツのジャガイモと日本のじゃがいもはぜんぜん味が違うそうです。ドイツのジャガイモはぜんぜん甘くないそうです。

ドイツのジャガイモはどんな味なのでしょう？説明できないと言われました。魚料理もあまり好きでないとっていました。ドイツでは、あ

まり魚料理は食べないそうです。日本では、魚料理はたくさんあります。魚を好きな人は多いです。これはドイツは海に面しているところがとても少ないです。日本は海に囲まれている国です。たくさんの種類の魚が日本の周りにいます。小さいときから、魚料理を食べています。



(2) 4月14日(日)岐阜へ不登校支援・保護者サポート支援勉強会に参加しました。(写真①)

保護者の皆さんは、すでに年々不登校の児童・生徒が増えていることはご存じだと思います。

また、江戸川区ではひきこもりの人が9000人を超えています。(令和3年調査)



この問題については、とても関心をもっていただけたところ、塾仲間の島根留学支援者の尾糠先生より勉強会の誘いを受けました。(紹介文別紙)

開催場所は、岐阜のカナン学院です。

いざ、岐阜へ！！(写真③)

新幹線に乗って、日帰りで行ってきました。



なぜ、岐阜のカナン学院で開催されたのか？

それは、カナン学院の学院長の奥さんが、NPO法人(教育・地域交流機構)の代表者で、今回のお話をして頂けるからです。(写真①)

また、静岡県からは、不登校・ひきこもりの支援をしている山下先生もお話してくれました。山下先生は、読売新聞にも取り上げられている方で、教育委員会や学校の先生向けに、講演活動もしています。(写真②)

今回のお話のテーマは、「不登校・ひきこもりの状態を解消するためには、どのような支援又は関わりをしたらよいか。」でした。不登校やひきこもりの解消は、学校に復帰することではなく、**社会的な自立**をめざすものでした。社会的な自立を具体的に言うと次のようになります。

自分の進路を自分で考え自分で行動する

これは、不登校やひきこもりの人たちだけではなく、私自身も含めて一般の教育理念ですね。



では、大人の人たちは子どもたちにどのように指導したらよいのか？

①規則正しい生活

②コミュニケーション能力

③自己理解

保護者の皆さんには、子育てとして**①規則正しい生活**をしっかりさせることがとても大切です。「早寝早起き朝ごはん」ですね。



保護者の方は毎日仕事や家事などでたいへん忙しい状況です。そこで、役割分担が大切になってきます。②コミュニケーション能力③自己理解そして学習面は、学校や塾に任せて、保護者の皆さんは、**①規則正しい生活**のところをお願いいたします。

(3)4月26日(金)フランス人アドリアンがホームステイに来ます。

シェア・ハウスに戻ったフランス人アドリアンが戻ってきます。そして、フランスに帰国するまで塾にホームステイします。(6月29日に帰国予定)

ぜひ、交流してみてください。

アドリアンは日本語をうまく話せるようになりました。できれば、児童・生徒の皆さんは、フランス語か英語で質問してみてください。

2) 今後の外国人ホームステイ予定

(1) フィリピン英語のリン先生が 6 月 7 日に来日します。

6 月 7 日 (金) ~ 6 月 21 日 (金) の 2 週間、塾にホームステイします。

今度は、オンラインではなく対面で授業になります。児童・生徒の皆さん、頑張って英語を使ってくださいね。

また、本場フィリピン料理を作ってもらいます。フィリピン料理を食べて、英語で感想を言ってくださいね。

もちろん、「美味しいです。」とお願いいたします。

楽しみにしてください。

(2) 次のホームステイに来る外国人は 9 月の予定です。

フランス人・ドイツ人・フィリピンの方が来ましたので、今度は他の外国の人に来てもらう予定です。

20 歳前後の外国人学生のバイタリティーあふれる力をみて、児童・生徒のみんなが元気になってもらいたいと願っています。

日本と違った文化・慣習を学ぶと自分の考えが相対化され、視野が広くなり、心に余裕ができます。

皆さんも、ぜひこのような経験をしてもらいたいです。

3) 4 月 28 日(日)私立中学・高校合同説明会に主催者として参加します。(錦糸町)

直接学校の先生とお話できる機会です。もし、お時間がありましたら、ぜひ参加してみてください。

参加される保護者の方は、事前に来場時間を教えて頂ければ、私の方でもご案内いたします。

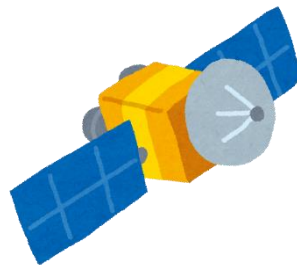
満席で予約ができなかった場合は、当塾に直接ご連絡ください。(参加できます。秘密)

4) いま、宇宙がアツい！！

通信制高校：クラーク記念国際高等学校

この学校では、2021 年探求型授業として「宇宙教育プロジェクト」がスタートしました。東京大学や宇宙企業と協力して、人工衛星を開発しました。そして、昨年打ち上げに成功し今年 1 月には衛星から初めて信号をキャッチできたそうです。

これだけではなく、今は月面探査車の設計に挑戦しています。この学校の高校生のチャレンジ精神はすごいですね。

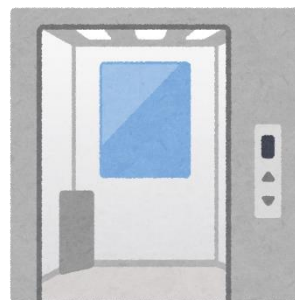


神奈川大学の学生の挑戦！！

宇宙エレベーター開発に情熱

宇宙に人や物を運ぶには、今はロケットが使われています。しかし、地球と宇宙を結ぶ「宇宙エレベーター」が実現すれば、誰でも簡単に宇宙に行けるかもしれません。

まだ、宇宙エレベーターの速度が 100 km/h だそうです。これでは、3 万 6 千 km 離れた静止衛星まで 2 週間はかかるそうです。そこで、その速度を上げるため、日々研究しています。



子どもたちが大人になったときは、エレベーターで宇宙に行くことができると思います。

クラーク記念国際高等学校・神奈川大学の生徒・学生さんの失敗に負けないで、どんどん挑戦する姿勢を見習いたいと思います。



家の大掃除をすることで、整理整頓ができ家がきれいになると、自分は何かできそうだという気持ちになります。気分が変わり、思いかけない気づきが生まれることが多いです。

ぜひ、試してみてください。



5)気分転換できていますか？

4月も3週目に入り、子どもさんは新しい環境に慣れましたか？また、転勤や移動などで環境が変わった保護者の方もいらっしゃると思います。

まわりの人たちとうまくいかずに悩んだり、またこの先もうまくいかないことが続くだろうと心配していますか？（子ども・大人）



このようなときは、あれこれ考えてもグルグル悩みが回り続けてしまいます。

どうすればよいか？
体を動かすことです。

家の大掃除です。



<今月のことば>

今、

目の前にある困難は、



未来から見ると



ちっぽけなこと。